

学校経営の全体構想

学校課題

国・県・市の方針

- ・地域社会を担う「地域社会人」としての素養を育む。
- ・少人数の固定的人間関係が見られる。今後「意味づけ・価値づけ・方向づけ」の継続の中で改善を促進する。
- ・自ら学ぶ姿勢、基礎となる「学び方」や基礎的学力が身に付いている。さらに少人数の中で意欲と主体性を伸ばし「学び合い」を主とする「学習形態の工夫」を進める。
- ・単位の時間のある「学習形態の工夫」を進める。さらにその間を結ぶ「発問と板書」のあり方を工夫する。
- ・保護者、地域との「相互連携」が進んでいる。一層の「相互信頼」関係を確立する。
- ・「あいさつ」ができており、保護者・地域と連携してそのよさを価値づけ、「人間関係力(コミュニケーション能力)」をさらに育む。
- ・運動、活動に継続して取り組む姿が見られる。今後、認め励ますことを通して、「たくましい心と体」を育む。

・保地
・児童の
・保護者
・地域
・学校
・及び
・対評
・児童
・地域
・学校
・及び
・対評

学校の教育目標

かしこくて あたたかくて たくましい子

目指す児童像

かしこくて	あたたかくて	たくましい子
学びの目標をもち、継続する中でそれに近づき、確かな力を身に付け、自分に自信がもてる子 —自ら学ぶ子—	互いに聞き合い語り合う力を持ち、仲間をより深く知り、互いに支え合い自分に自信がもてる子 —支え合う子—	心と体を鍛えるための目標をもち、継続する中でそれを達成し、自分に自信がもてる子 —鍛える子—
児童の姿：「自ら学ぶ」「互いに支え合う」「自ら鍛える」		

具現の重点

学校の教育目標と学級目標の具現につながる「ねらい」と「評価」の一体化

<ul style="list-style-type: none"> ○「教える・考える・表現する・習熟させる」の位置づけが明確なめりはりのある授業 ○学び合いと学び方(家庭学習を含む)を身に付ける指導・援助 ○繰り返しと個に応じた指導 ○分かった喜び、できた喜びの味わえる授業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉と顔で心をつなぐ力の育成 挨拶、合唱、発表、演奏、聞く話す、異年齢集団活動 ○「道徳の時間」を基に自己を見つめ語る場の設定 ○よさを認め互いに励ます児童の相互関係の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○心と体を鍛えることを自覚した運動、活動の意味づけ・価値づけ、方向づけ ○自ら意識し、歯と体の健康に心がける姿勢を育む継続的指導 ○食生活を意識し改善できる計画的な指導
主体的な学びの力	自己指導ができる力	

人的、物的の構え

組織の体制の確立と安全・安心の環境

- ・児童一人一人を知り、更に知ろうとする児童理解
- ・教師の意図や願いを子どもの心に伝えられるスキル 言動、スキンシップ、笑顔
- ・保護者、地域と信頼関係を結ぶコミュニケーション力、発信力、ネットワーク
- ・職員相互の報告、連絡、相談の確実な履行
- ・職員間のあいさつ、来訪者へのあいさつ 誠実さの表れた「一人一人が学校の顔」意識
- ・互いに学び合い、自ら多様な指導法を身に付ける場「研修」の充実
- ・伊自良を知り、愛着をもって地域と子どもに接する心
- ・地域と伊自良北小の伝統活動、伊自良北小の柱活動と位置づく「十六拍子」
- ・「何を、だれが、いつまでに、どうする」の明確な教職員相互の理解と連携

教師のキーワード：「徹底と継続」「挑む」「本気」

教師の基本姿勢：「甘やかさない優しさ 冷たくない厳しさ」

